

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： GAST-143

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
胃がん (CLDN 18.2陽性かつHER2陰 性例)	Zolbetuximab +CAPOX	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Nature Medicine 2023;29:2133-2141

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート アロカリス ポラミン パロノセトロン	9.9mg 235mg 5mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																				
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	ピロイ ピロイ 生理食塩液	800mg/㎡(初回) 600mg/㎡	点滴静注	医師指示	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	エルプラット 5%ブドウ糖液	130mg/㎡ 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	カペシタピン	2000mg/㎡ /日	内服	1日2回に分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		

＜注意事項/備考＞

- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/㎡より頻度上昇）
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 初回に悪心・嘔吐症状が高頻度に発現するため、前投薬および支持療法を必ず行う
- ✓ 投与速度により悪心・嘔吐の発現が増加するため、悪心嘔吐の忍容性をみながら投与速度を上げる(投与速度は投与量により規定された速度に従う)

✓ Zolbetuximab(ビロイ) Infusion reactionに注意(初回前投薬は必須ではない、当院ではポララミン注使用)

✓

✓